

段差解消工事事例 工事時間:1週間(施工3日間、乾くまで4日間)

脳出血の後遺症により麻痺が残り、車椅子での移動が必要になっているご利用者より、外出の度にスロープを設置しなければならず、ご家族の負担が大きいとご相談があり、住宅改修での段差解消工事を提案させて頂きました。

車いす利用時のスロープの長さは、目安として段差の高さに対して、ご自身で操作される場合は12~15倍の長さ、介助での移動での場合は6~8倍の長さが目安とされています。



工事前



工事後



脱輪防止のゴムを設置しています。

- ☑ コンクリートを用いてスロープにすることで、傾斜も緩やかになり、外出の度にスロープを設置する負担をなくすことができました。脱輪防止のゴムを両サイドにつけることで、より安全に利用できるようになりました。

ご利用者様からのご感想

外出の度にスロープを設置しなくてよくなったので、今までより外出がしやすくなりました。家族と一緒に外出の機会を増やしていきたいです。

※コンクリートの乾燥までの間は、渡し板をつくり、スロープのようにすることで、その上の移動も可能となります

工事参考費用

約25万円

段差の高さ:約30cm
スロープ長さ:2.6m



福祉用具や住環境のこと、なんでもご相談ください!



富士フィルム生活協同組合

富士ライフサポート小田原営業所

神奈川県小田原市久野857-1

TEL:0465-32-3731

FAX:0465-32-3331